

令和3年 外務大臣表彰

2021年8月20日

8月20日、外務省は、令和3年度外務大臣表彰受賞者（177個人、41団体）を発表し、トリニダード・トバゴ剣道連盟のエディ・デビッス会長（MR. Eddie Devisse, President, Kendo Federation of Trinidad and Tobago）の受賞が決定しました。

デビッス氏は、2004年にトリニダード・トバゴで剣道連盟を設立しました。連盟は、中南米剣道連盟に所属しており、全日本剣道連盟にも認可され、今年で17周年を迎えました。連盟はデビッス氏の指導の下、国内の様々な地域で、週に複数回の剣道教室を開講して剣道の普及に努める他、日本大使館との協力関係も築いており、2008年の日本展開会式や、2014年の大使公邸レセプション等で剣道デモンストレーションを披露しました。また、海上自衛隊剣道チームの同国訪問時に調整業務を担いました。

剣道連盟は、2015年以降は毎年剣道選手権大会を開催し、日本大使杯が贈られています。2019年の大会では、剣道連盟に対して、同連盟設立15周年を記念し、長年の剣道普及への功績を讃え、在外公館長表彰が実施されました。

さらに、2019年から、デビッス氏は、国内の若者の生活向上支援を願って、恵まれない地域の子供たちに剣道を教える等、剣道を通じた日本文化普及に多大な貢献をしています。

外務大臣表彰は、多くの方々が国際関係の様々な分野で活躍し、我が国と諸外国との友好親善関係の増進に多大な貢献をしている中で、特に顕著な功績のあった個人および団体について、その功績を称えるとともに、その活動に対する一層の理解と支持を国民各層にお願いすることを目的としています。



デビッス・トリニダードトバゴ剣道連盟会長



平山大使、クジョー・スポーツ地域開発大臣と懇談するデビッス会長